

平成30年度シラバス

文化学園長野保育専門学校

科目名					授業の種類	授業担当者
体育 I					演習	渡邊 伸
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修	
1	2	60	30	1年通年	卒業:選択	幼免:選択 保育士:選択
<p>[授業の目的・ねらい]                      幼児が充実した遊びの時間・空間を与えることができるように、子どもの運動の基盤的世界を運動教材を実践することによって理解する。事故やケガが起こる可能性を自身の身体的な経験から感じ取れるようになる。</p>						
<p>[授業全体の内容と概要]                      子供が関心を示す多様な運動形態を実践することによって、幼児が「できる」を感じる指導ができるように、その動きのコツやカンを体験する。鬼ごっこ、水で遊ぶ、ぶら下がる、平均台、跳び下りなど多様な動きを経験する。</p>						
<p>[受講上の注意事項]                      できる、できないに関わらず、自身の身体で経験することがなければ学べないことを理解して授業に参加すること。</p>						
[使用テキスト] なし、				[評価基準] 自身や他人の運動を感じ取り、評価する能力		
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]						
回	項目		授業内容			
1	ガイダンス		この授業の目標、内容の説明、年間の計画、評価のポイント			
2	講義 I 模倣		模倣の運動学 運動は伝染する			
3	講義 II 遊びの場		遊びの場をどのように作るか			
4	場の雰囲気について		遊びの共同体をどのように作るか			
5	「からだで覚える」		運動は「からだで覚える」ことの意味			
6	幼児の運動の繰り返し		なぜ幼児は気に入った運動を繰り返すか			
7	できそうな感じを体験する		まだできないけど、できそうな気配を感じ取れるか			
8	「めまい」の運動を経験する		転がる、跳び下りる、ひっくり返るなどは子供は大好き			
9	他人との身体接触のある運動		他人の運動を触覚で感じ取る			
10	向かい合って同じ運動をする		「鏡稽古」の意味を理解する			
11	道具を扱う運動		バケツで水をくむ、他の容器に移す、など			
12	水で遊ぶ I		顔を水につける(面伏せ)、息を止める			
13	水で遊ぶ II		シャワーを浴びる、シャワーのなかで呼吸できる			
14	水に潜る		プールで遊ぶためのリスクマネジメント			
15	これまでを振り返る		後期の実習のために今までの実習を振り返る			

16	講義Ⅲ 子供と遊ぶ	子供と遊ぶために、どんな準備が必要か
17	鬼ごっこ	子供ができる鬼ごっこのリスクマネジメント
18	長なわとび	子供と長なわとびをするためにどんなとび方が考えられるか
19	短なわとび	子供と短なわとびで遊ぶ教材を考える
20	平均台	子供の遊びのリスクマネジメントを考える
21	転がり落ちる	ステージから転がり落ちる運動のリスクマネジメントを考える
22	騎馬戦 遊び	騎馬戦の騎馬を組んで動く、リスクマネジメント
23	風船とり騎馬戦	身体に付けた風船をとる騎馬戦のリスクマネジメント
24	大玉のキャッチボール	ビーチボールのキャッチボール
25	大玉どっちボール	バランスボールでドッジボールをする、リスクマネジメント
26	隠れ家を作る	マット、跳び箱、など体育用具で隠れ家を作る、リスクマネジメント
27	バスケットボーリング	転がるボールにボールを転がして当てる
28	雪だるまを作る	雪が降ったら、かまくらを作る
29	そり遊び	雪で坂を作ってそりで滑る
30	総括	子供は楽しくなければ学べない